

愛郷
無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2016年03月06日号 NO.0536

写真提供：大田市

Subject：今だからこそ司馬遼太郎史観 NHKEテレ100分de名著

人気番組、NHK/Eテレの【100分 de 名著】。3月は司馬遼太郎スペシャルです。今このタイミングで、なぜ司馬遼太郎がスペシャルで選ばれたのか？ 単に没後20周年だからという理由だけではないはず。

ドヤツーではみなで歴史に学ぼうと幾度も伝えてきました。何かがおかしいと漠然たる不安と嘆きと怒りを感じながらも、じゃあ具体的に何をどうすべきかという明快な処方箋と指標が全くない今の世の中。無関心・無責任は当たり前。人々の価値観の振幅が大きく、情報が氾濫し、様々なものが複雑に絡み合った世の中だからこそ、せめて自分一人一人がしっかりとした指標・座標を持つために学び、経験せねばなりません。そのため我々凡夫ができることは、【過去から学ぶこと】が一番だと思うからです。

世がまた混迷しているこのタイミングで司馬史観なのはさすがNHK！なのだと思います。

◆第一回 再放送3月9日(水) 午前06:00～06:25/午後00:00～00:25

【国盗り物語】 戦国から読み解く変革力

◆第二回 3月9日(水) 午後10:00～10:25

【花神】 幕末に学ぶリーダーの条件

◆第三回 3月16日(水) 午後10:00～10:25

【明治という国家】 明治という名の理想

◆第四回 3月23日(水) 午後10:00～10:25

【この国のかたち】 「鬼胎の時代」の謎

戦国時代→幕末→明治→昭和(戦前)と、それぞれの時代を書いた司馬作品の代表作4冊を読み解きながら、この国が歩んできた道と、その時々の中や思想の変遷、そして日本人とは何なのか？という課題を、日本と日本人を見続け稀代の作家・歴史小説家の言葉から拾っていきます。古代に比べて近代を駆け足で教える学校の歴史の授業では絶対に教えてくれないこと。番組の解説は「武士の家計簿」や「無私の日本人」の著作で知られる磯田道史氏(歴史家)。とても分かりやすく明快な解説があります。

一般書店で販売されているテレビテキスト(524円+税)の表題には、【二世紀に生きる君たちへ、自己を確立して、他人をいたわる ～そうした人になってほしい】と著書から引用した自身のメッセージがあります。

ぜひテレビテキストを購入した上で番組を順を追って見ましょう。

20代、30代といった若い人ほどこの番組を見て欲しい、そして是非取り上げられた作品、特に「この国のかたち」(全6巻)を読んで欲しいと思います。

※文藝春秋3月特別増刊号としても、完全保存版として、司馬遼太郎の真髓【この国のかたち】が発売されています。

2016年 3月 ●Eテレ

3

水曜日——午後—10:00~10:25

◎翌週水曜日—午前—06:00~06:25

午後—00:00~00:25



司馬遼太郎

Shiba Ryōtarō

スペシャル

四作品を軸に、
日本と日本人の
あり方について
考える。

この国のかたち

「明治」という国家

花神

国盗り物語

二十世紀に生きる君たちへ

歴史家・静岡文化芸術大学教授

磯田道史

Isoda Michifumi

自己を確立して、他人をいたわる
——そうした人になってほしい。

没後二十年企画